

五十嵐千代（いがらしちよ）

東京工科大学医療保健学部看護学科学科長・教授

/産業保健実践研究センター長



日本産業衛生学会関東地方会会長

【この2年間で今後の抱負】

日本産業衛生学会会員歴は38年になります。2023年度より、関東地方会会長を拝命しています。関東地方会の会員数は4,000名を超し、各地方会の中でもっとも大きな組織です。理事および関東地方会長としてのこの2年間、皆様のご理解とご協力のもと地方会運営の改革を進めてきました。

1. 本地方会事務局をひとつの医局に頼るのではなく、アウトソーシングなども活用し、今後誰が地方会長になっても、安定的で持続可能な運営ができるような仕組みを整えてきました。
2. 毎回の幹事会に理事も入れ、様々な意見を取り入れ、幹事会で合意形成しながら運営してきました。
3. 他の地方会と同様に、研究推進と交流および若手会員の育成の場として、地方会学会を創設し、2024年12月6、7日に第1回関東地方会学会が開催され、現在、第3回まで企画運営委員長が決定しています。
4. 本地方会に属する研究会をCOIや実際の活動実態などの観点から、本学会に昇格するなど適正に整理し、研究会規程をつくりました。
5. 地方会ニュースに毎回地方会長からのメッセージを掲載することにし、関東地方会の方向性を伝えるようにしました。

理事として、責任ある学会運営と、学会全体及び関東地方会の発展に尽力します。会員の皆様の産業保健活動のよりどころになるような魅力ある学会にしたいと思います。

<マニフェスト>

1. 日本産業衛生学会がわが国の産業保健の向上のために、学術団体として社会的役割を果たし社会貢献できるよう、運営に貢献します。
2. 多職種が連携しながらそれぞれの専門性を活かし、日本産業衛生学会が発展することに力を尽くします。
3. 産業保健に関わる人の現任活動を支援する社会基盤の強化と人材育成を推進します。

<略歴>

1986 千葉大学看護学部卒業、2008 順天堂大学医学部医学博士取得。1986 富士電機㈱、2008 富士電機リテイルシステムズ㈱本社健康管理室副室長、2010 東京工科大学医療保健学部看護学科 現在、同学科長・教授・産業保健実践研究センター長、2015 日本産業保健サポートセンター設立。現在、日本産業衛生学会理事・関東地方会会長・産業保健看護部会部会長。2022 保健文化賞（天皇皇后両陛下拝謁）、厚生労働大臣賞など。編著「産業保健看護学」産業医学振興財団、「職場診断マニュアル」メディカ出版（2023）など多数。